

ごあいさつ

いつも公明党に対し多大なるご協力・ご支援を賜りありがとうございます。

コロナ禍という様々な制約や変化の中、市民に寄り添いきめ細やかな対応や、新型コロナウイルスとの長期に渡る戦いを見据えながら、今後、松原市が進める政策について、市民の皆様にとってより良いものと実感していただければなりません。

このような状況の中で、感染拡大にも注視をしながら、市民の命と安心・安全を守り、新たな街づくりへの政策や取り組みについて、これからも推し進めてまいります。更なるご指示・ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和2年

第3回定例会 河内 徹



2020.9.15

個人質問

コロナ対策事業について

Q 商店や中小企業の経営者の方を支援する、新型コロナウイルス感染症関連給付金等申請サポート事業について、そして市が行う事業の内容についてお聞かせください。

A 新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けた市内業者の問い合わせに行政書士が対応し、各種給付金等の制度内容や申請方法について説明や助言を行うものであり、電話で気軽に、無料にて相談いただけるものとなっております。加えて、インターネット環境が整っていない等により事業者だけでは申請が困難な場合、申請手続き代行まで希望されている事業者に対しては、行政書士に支払う申請代行費用の一部を補助させていただく制度も合わせてご用意しております。



中小企業に対する支援策について

Q 製造加工業に対する本市の政策として、展示会に出展される際の事業費補助や小規模事業者融資制度等、色々あることは承知しているが、インターネット環境もなく、日々本業に専念されている個人事業主にとっては、国の給付金制度等や本市の事業者支援策について、知ることもなくご苦労されているのではないかと感じております。このような事業者に対し、どのように周知徹底をしていくのか考えをお聞かせください。

A 本市はこれまでに、事業者へのさまざまな支援策について、広報やインターネット等で情報発信するとともに、松原市商工会議所とも情報共有しつつ、お問い合わせへの対応などを行ってまいりました。また、この度、行政書士による電話相談窓口を設置しますが、小規模事業者の方々がこの事業を一番必要とされておられる方々と考えます。引き続きしっかり周知していきながら、大阪府や商工会議所とも連携し、小規模事業者の方に寄り添うことができるような支援策について、検討し進めてまいります。



松原市の財政状況について

Q 自主財源確保に向けた取り組みや、コロナ禍における財政状況の見通しについてお聞かせください。



A 本市の財政状況につきましては、新型コロナウイルス感染症による市税収入等への影響や、感染症予防対策、市内経営活への取り組みなど、新たな財政需要が予想されることから、引き続き、企業立地促進や定住人口獲得など、将来の自主財源確保につながる取り組みを進めるとともに、事務事業の見直しや公有財産の有効活用による効果を活かし、持続可能な財政運営に取り組んでまいります。

コロナ禍における教育について

Q 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、学校は臨時休業や分散登校となり、授業時間が少ない中、学校教育活動の現状と課題についてお考えをお聞かせください。

A 授業時間については、夏休みや冬休みの長期休業期間を短縮し、児童生徒の実情に合わせて学力向上を目指し、柔軟に対応してまいります。コロナ禍においても、自ら人生を切り拓く力を育み、より良い社会の担い手となるよう学校教育活動を充実させてまいります。

Q 新GIGAスクール構想の実現に向けた取り組み及び、子ども一人ひとりに端末を持たせる学習や情報モラルについての考えをお聞かせください。

A 全ての子どもたちのためのグローバル社会とイノベーションへの入り口となるように、一人一台の端末環境を効果的に活用していくことが極めて重要だと考えております。教科書に掲載されたQRコードなどを読み取って動画や音声を視聴し、他の人の考えをもとに自分の考えを深めるなど、児童生徒の発達の段階に応じた活用方法が考えられます。また、家庭に端末を持ち帰っての授業の予習・復習に活用したり、学校が長期の臨時休業になるような場合にはオンライン授業を受けたりすることも可能となるよう準備をすすめるとともに、インターネット活用の光と影の部分や適切な関わり方についてもモラル教育を通して的確に指導してまいります。



消防体制について

Q コロナ禍における救急体制について、現状と課題についてお聞かせください。



A 消防本部ではこれまでの新型インフルエンザの流行に備えた感染防止対策により、救急体制を備えてまいりました。新型コロナウイルスにおいても十分な救急資器材が確保できており、徹底した感染防止により、円滑な救急業務が遂行できております。また新たに感染症患者救急搬送用資機材をすみやかに導入する予定であり、感染予防対策に万全を期し、市民の皆様が安心できる救急体制の確保に努めてまいります。

Q 大型商業施設・阪神高速大和川線の開通に伴い、今までになかった新たな施設や道路ができることにより消防体制の強化が必要と考えられるが市としての考えをお聞かせください。

A 大型商業施設と阪神高速大和川線の消防体制について、これまでに、救急隊や消防特別救助隊を増隊するとともに、消防の相互応援制度による他都市消防機関との連携を強固にするなど、消防体制の充実・強化に取り組んでまいりました。これからも引き続き、市民の安心・安全を確保してまいります。

